

授業科目 社会福祉学特論Ⅳ (貧困・生活困窮者対策特論)	科目概要・形式 2単位 30時間	配当年次 1年 後期
科目責任者	出雲 祐二	
担当者	出雲 祐二、村田 隆史	
1. 科目のねらい・目標 本講義の目的は、社会福祉学分野における貧困・生活困窮者対策の実態と研究動向について学ぶことである。貧困問題の解決は社会福祉の原点であり、古くて新しい課題といえる。また、今日の貧困問題は多様化しており、解決法にも総合的な視点が必要となっている。講義は各教員が進めていくが、最終的には受講者が関心のある分野の先行研究を分析し、研究課題を設定できるようにする。		
2. 授業計画・内容 第1回 貧困・生活困窮者対策をめぐる今日の動向 (出雲、村田) 第2回 貧困問題と社会福祉の関係 (出雲) 第3回 貧困問題と社会福祉研究 (出雲) 第4回 戦前日本の貧困問題 (出雲) 第5回 戦後日本 (1945年～1955年) の貧困問題 (出雲) 第6回 戦後日本 (1955年～1973年) の貧困問題 (出雲) 第7回 戦後日本 (1973年～1990年) の貧困問題 (出雲) 第8回 諸外国の貧困問題 (出雲) 第9回 今日の日本 (1990年以降) における貧困問題 (村田) 第10回 貧困問題と生活保護制度 (村田) 第11回 貧困問題と低所得者対策 (村田) 第12回 貧困問題と生活困窮者自立支援制度 (村田) 第13回 生活保護制度の実態に関する事例検討 (村田) 第14回 生活困窮者自立支援制度の実態に関する事例検討 (村田) 第15回 貧困・生活困窮者対策に関する先行研究の分析 (村田)		
3. 教科書、参考書 受講者と相談した上で決定する。		
4. 成績評価方法 講義での報告と討議 50% 最終レポート 50%		
5. 受講要件 特になし。		
6. 社会人学生に対する配慮 受講者と相談した上で、夜間開講、土日開講、夏季集中講義などを検討する。		
7. その他 特になし。		